

鹿児島県 志布志市立図書館

基本データ

所在地	鹿児島県志布志市 志布志町志布志 2250-1
職員数	17人
うち司書数	6人
蔵書数	194,053冊
利用登録者数	24,516人
年間貸出冊数	184,054冊 (児童用図書貸出数 80,326冊)

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】連携

【活動のねらい】

- 行政や学校と連携をとり、図書館サービスの充実を図る。
- 本と人を繋ぎ子どもの心を育み、人を育て利用しやすい環境で読書を支援する。
- ブックスタートで読み聞かせをサポートし、セカンドブックで親子一緒に選書に関わることで家族の読書意欲を高める。
- 学校図書館との連携により、子どもの読書環境を整備する。

取組・活動の概要

(1) 学校との連携

①学校司書補研修会

- 教育総務課が行う学校司書補研修会の3回に1回は、希望をとってもらい、掲示物作成や読み聞かせ、ブックトーク、アニメーション等の研修を行っている。一人業務の学校司書が、仕事の相談やヒントがもらえるように、できるだけグループでの研修にしている。



移動図書館体験

②学校へのおはなし宅急便

- 小学校の図書館まつり、家庭教育学級、入学説明会など要請のあった学校へ出向き読み聞かせなどを行う。

③移動図書館車巡回

- 図書館から遠距離にある小学校を中心に、2週間に1回昼休み時間を利用し巡回している。昼

休みが始まる前に返却処理が終わるように、学校に本の回収をお願いする。

④教職員の初任者研修

- 夏休みに行われる曾於地区の初任の先生方に、図書館のいろいろなサービスと、ブックトーク、アニメーションを交えた読み聞かせ等のおすすめや方法を紹介し、教科を問わず読み聞かせをしていただきたいことをお願いする。

⑤一日司書体験

- 小学校3年生から中学3年生までを対象に、年間20人土曜日に窓口業務を中心に話会への参加、自分の本のコーティング体験などを行う。

⑥ 職場体験・地域貢献・教育実習の受け入れ

(2) 関係機関との連携

①ブックスタート・セカンドブック

- ブックスタートでは、月1回保健課の3か月検診時にボランティアさんによる読み聞かせを行い、読書相談と共に本と貸出バックのプレゼントをする。セカンドブックでは、小学校入学前にベスト20の中から親子で1冊選んでもらい、入学後にプレゼントする。

②高齢者学級

- 地区ごとに申し込みを受け、高齢者の皆さんに図書館に来ていただいたり、出かけたりし、話会や工作等を行い図書館の利用をおすすめしている。

③ジュニアリーダー

- 年1回社会教育係が行うジュニアリーダーの保育園訪問に合わせ、図書館で選書の方法と読み聞かせの方法を指導する。

④宅配サービス

- 希望者に、毎回聞き取りアンケートを行い、個人データを作成し好みの本を届ける。基本1か月だが、個人のペースに合わせお電話があれば随時配達もする。また、病気療養中の子どもさんのお宅へ希望の本を届け、読み聞かせを30分程度行う。



宅配サービス

⑤各種イベントの企画・開催

- 絵本作家等を招いて講演会やワークショップを年1~2回開催。
- 「都城広域定住自立圏構想協議会事業」年1回、3市1町で一人の作家さんを招いて4箇所で開催を行う。

取組・活動の工夫や特徴

- 学校司書補研修会では、行政と連携し司書補にアンケートを提出してもらい、求めに応じた内容にしている。
- 宅配サービスは、時間を固定せず業務の空いた時間に宅配ができ負担にならない。また毎回アンケートをとることで、読みたい本の系統が分かりサービスに繋がっている。
- 教職員の初任者研修や地域貢献、職場体験や教育実習等において、図書館の持つ機能やサービスを伝えることにより利用の場が広がった。
- セカンドブック事業では、就学健康診断の待ち時間に保護者へ事業の説明を行い、図書館に見

本を置き、入学式までに親子で好きな本を1冊選んでもらうように呼びかけている。

- 図書館が持つ機能やサービスを、機会あるごとに繰り返し伝えることで、利用者増へと繋がった。

取組・活動の成果や今後の展望

- 個人の求めるものを知ることで、サービスの内容が広がる。
- 一つ一つの事業を繋げることで、継続的な取り組みができる。
- 多様な団体と連携を取り意見を聞くことで、発想の幅が広がり新しいサービスにつながる。